下賜金を頒て

平和博に内紛

半月經つても知らぬ顔

嘗に九州大學に於て皇后陛下よりの下賜金分配問題あり今又第二の分配問題にも云ふ可きが平和博に惹起した、事の起りは去る三月二十七日開幕の平和博行啓の御

職員一同

に對し特別の思召を以て金一封を下賜あらせられたが意慢にも事務局は今日に至るも依然として之を頒たず尊め事務員間には斯くては折角の思召にも背き奉るものであるとの意見を以て内々協議を遂げ當局に分配を迫らんとして寒心堪か

經理局長

に聞くと既に下賜金は石田總務課長に過して分配課は一本だけ分配せねば事實である但配分方法を石川秘書に命じて研究させてゐるから具體案が決定次第にと思つてゐるので斯樣に立つて必要はあるまい」と語つたとしてゐる

右に就き

二三の事務員は「從來各博覽會に下賜金のあつた事澤山あるが何れも三日以内位に各員に對し御沙汰を傳へられ居る事となつてゐるが今回は一緒何うした訳か約半ケ月以上も經つてゐる今日尚同等の音沙汰もない勿論我々は金そのものでなく殿下々賜金の其光榮に浴せん事を切望してゐるのであるから殿下は一時も早く殿下の思召を一同に頒たん事を祈るのである」と語つた、一方

職員一同

ふ事は全く怪しからぬ事で使うした無理解なお役人許りでは到底面白く働ける道理がありません不平から退職して賣店か飲食店に屈はれて行く女看守が澤山出來ました

怒つた女看手

賞與が貰へなかつたので

退職者續出する有樣

右に對して阿部看守係長曰く「女看守は三百人男看守は三十八人あるが之れに對して慰勞金を出すとすれば莫大な金高に上り到底豫算が無いので何うする事も出來ない女看守から

柳眉を逆

立て金魚のやうな口を開き乍ら遡へ曰く「今月始め事務員には一ケ月分以上賞與したのに終日人込みと運搬に奔走し健康をさへ傷けつゝあるかよわい私たちに對して一文の慰勞金も與れませず女

差別待遇

をすると云

二十日まで

實用品臨時大廉賣

春物＝夏物

相場はづれの極上品、其實質と其値段！是非御一覽を願ひます

松坂屋（上野）

不平陳情

のあつ事は事實だが當局は之れに對して增給計畫を建て近く實施する考へである、其方法は看守を成績こゝ甲乙丙の三級に別ち日給五錢以上十五錢迄を增給す事になつてる」

日本郵船の

職首策に

海員組合の反對決議

日本郵船會社では業務を外航部、内航部に分け内航部に關しては海員の職首策と減給を爲すことに決し、五月[illegible]を斷行することになつたので、横濱市松影町二丁目日本海員組合では職首者並に減給者救濟策に就き、同組合に於て十七日夜幹部大會を開き決議を爲し、要求案として會社に提出する事となつた

山東鐵道の

從業員憤慨して

當局に解雇手當を要求

山東鐵道華府會議の結果、支那に還附されるべき運命に在るので、二月の初め二千五百餘名が解雇手當並に勞働條件の改善方に就いて當局に要求願書を差出したが何の解答もなかつたので、更に高等官を除く外職員、雇員、傭員等の全部團結し各部關係、工場等から各同數の實行委員七名を選出し、四月七日の紡績

血と涙

面白い・と云ふ・當時白い讀書は小說でも講談でも浪花節でも面でもある講談倶樂部五月號

曾に於て解雇手當五箇年、勞働條件三箇年を要求した、當局は之に應ぜず減給、減員、休職等の形式の下に少額の退職金で、どし〳〵追放つてゐるので、一同は大に憤慨して近く全從業員の大會を青島に開き、五月一日の勞働祭には一大示威運動を決行せん從業員大會で、二千名の實行委員が

目前の失業に

山鐵從業員騷ぐ

代表委員近く着京

解雇手當を要求す

山東鐵道の從業員は華府會議の結果同鐵道を支那に還付するに決したので解雇される運命を豫期し先ごろ願書を提出したが

効果が

ないので去る七日判任官以下雇員傭人等現業員二千餘名は代表委員七十名を擁げ青島舞鶴町の青島民政署綿頭本部に集合、あらためて解雇手當では日給の五ケ年分以外に勞働手當として三ケ年分の要求條項を決議して民政部に提出したが更に二名の代表委員は中央政府に陳情のため近く著京する筈で一同は失業不安を

徹底的

に解決すべく減設會を開いたり司令部に陳情したり種々運動してゐるが來月一日のメーデーを期し山東全鐵で現業員の大示威運動を開く事に決し不穩の形勢を示してゐる

野倉に五年の求刑

川崎騷擾事件第三回公判

流血の事を惹起した川崎騷擾事件の第三回公判は十七日午前十時から地方裁判所大

法廷に

於て富山裁判長係で開廷された立會武松檢事は

爭議の

願問野倉萬次五十圓の罰金が求刑して午後一に對し懲役五年、其他五十三名時一先づ閉廷午後は各人係精選の被告に對し懲役主犯七名、同人の補論に移つた（神戸電話）

冒頭して二時間餘に亘り最も辛辣に勞働爭議の根本から犯罪事實を論じ

二社會葬が示威運動に非ずと被告等は否認するも何者の目より見るも多衆運動たる事は動かす事の出來ない事實である

と結び元勞働總同盟神戸聯合會會長にして

文化博の

十八日（新築南館第五階に於て）

午前十時より學校映畫巡回

活動寫眞映寫

午後一時より講演

演題 日本住宅の將來に就て

講演 本野精吾氏

午後二時半より音樂演奏

慶應義塾大學

大阪眼鏡店

大阪心齋橋